e-Learning 推進部会（第１回）議事メモ

日　　時　　令和５年８月３日（木）14：30～16：20
場　　所　　中会議室
出席状況　　松川学長、久世、木幡、野口、森田、笠井、清水、村瀬、黒見、入江、中根、瀬戸、河原、山中、林、齋藤、佐々木、加藤、吉水、長浜、倉坪、松尾、橋詰

１．議長の久世遠隔通信教育部長より、「大学教育推進会議」において、e-Learning 推進部会がつくられたことおよび、議事について説明があった。
・e-Learning 推進に関する中期計画について
・本年度の実施計画について

２．e-Learning 推進に関する中期計画について
Multi Campus One Digital University 構想（全ての授業をいつでもどこからでも受講できるデジタルユニバーシティを実現：仮称）を推進する中期計画について説明があった。
・各専攻で最低 60 単位を e-Learning 化（3 年間）について
・主体的・対話的な深い学びへの転換のための学修環境の整備について
・次世代ネットワーク大学コンソーシアム岐阜（e-learning）構想について
・岐阜女子大学と沖縄女子短期大学との（e-learning）構想について
議長の久世遠隔通信教育部長より、e-learning 化による深い学びへの転換に必要となる、学習目標の分析とデザイン、学修モデルの説明および、幼稚園教諭免許状関連公開講座の紹介があった。
また、新たな展開のイメージをつかむため、本学で作成された e-learning 大規模公開オンライン講座（MOOC)の紹介があり、テキスト、動画や他の教材の例や、アンケートによる e-learning 学修環境の評価結果について説明があった。

３．本年度の実施計画について
議長の久世遠隔通信教育部長より、本年度の実施計画について説明があり、各学科専攻委員のなかで調整し、各１科目の e-Learning 作成するよう依頼があった。また、作成した e-Learning は、5 年をめどに更新が望ましいとの説明があった。
・１．e-Learning 科目並びに担当者の表の提出（8 月 31 日〆切)
・２．e-Learning 科目(9 月 30 日〆切)
・３．テキスト作成（12 月 31 日〆切）
・４．プレゼン資料並びに動画作成（1 月 31 日〆切）
・５．e-Learning サイト作成（2 月 29 日〆切）

・６．e-Learning サイトの確認並びに検証（3 月末〆切）

委員より、下記の意見があった。

・作成する e-Learning はオープンデータで、だれもが見ることができるのか。

・オープンにすることで、学生募集もつながると思われる。

・e-Learning を段階的に図書館システム等に入れてはどうか。

・すべてを e-Learning とした場合は、対話的な深い学びができないのではないか。

・すべてを e-Learning とした場合、対話的な学びができないことはないが、多くの労力が必要。

・e-Learning 担当者の他に、サポートの担当者が必要ではないか。

学長より、すべてをオープンにするかどうかは今後検討する余地がある。どのように活用するか等について、今後も検討を継続しながら、e-Learning を推進するよう指示があった。

４．議長の久世遠隔通信教育部長より、次回の会議（９月 7 日（木））までに、１．e-Learning 科目並びに担当者の表の提出をするよう指示があった。